

戦争・平和・いのちを考える ～態度に示そう Creative Aging～

■講演中、ベトナム戦争当時の枯葉剤による被害の映像を上映します

集団的自衛権の容認、共謀罪の成立、憲法改正など、戦後70年あまりを経た今日、戦争の記憶が薄れつつあります。今こそ、戦争と平和を考え、いのちの大切さに目を向ける時ではないでしょうか

「幸せなら手をたたこう」の作詞者として知られる木村利人さんは、1959年にフィリピンで開催されたYMCA国際ワークキャンプに参加した折にこの歌を作詞しました。帰国後、早稲田大学やYMCAなどで歌われ、さらに1964年のオリンピックの年に歌手の坂本九により国内だけでなく世界的にも大ヒットいたしました。

その後、ベトナム戦争中のサイゴン大学での体験を契機にアジアと欧米で全く新しい「いのち」の学問『バイオエシックス（生命倫理）』を構想・展開するに至った木村利人さんとともに、戦争と平和、そしていのちの問題からはじまって、「態度に示す“Creative Aging”の生きかた」による「持続可能な超高齢社会」についてともに考えて見たいと思います。

なお、講演の中で、バイオエシックスのルーツを考えるにあたって、ベトナム戦争当時の枯葉剤による被害の映像など約15分間の上映も予定されています。

皆さまのご参加をお待ちいたします。

講師 木村 利人

・早稲田大学名誉教授、ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所・特任研究員

日時：2017年10月28日(土)
14:00～16:00

場所：駒澤大学 1号館202教室

参加費：一般1000円 学生500円

■木村 利人(きむら りひと)

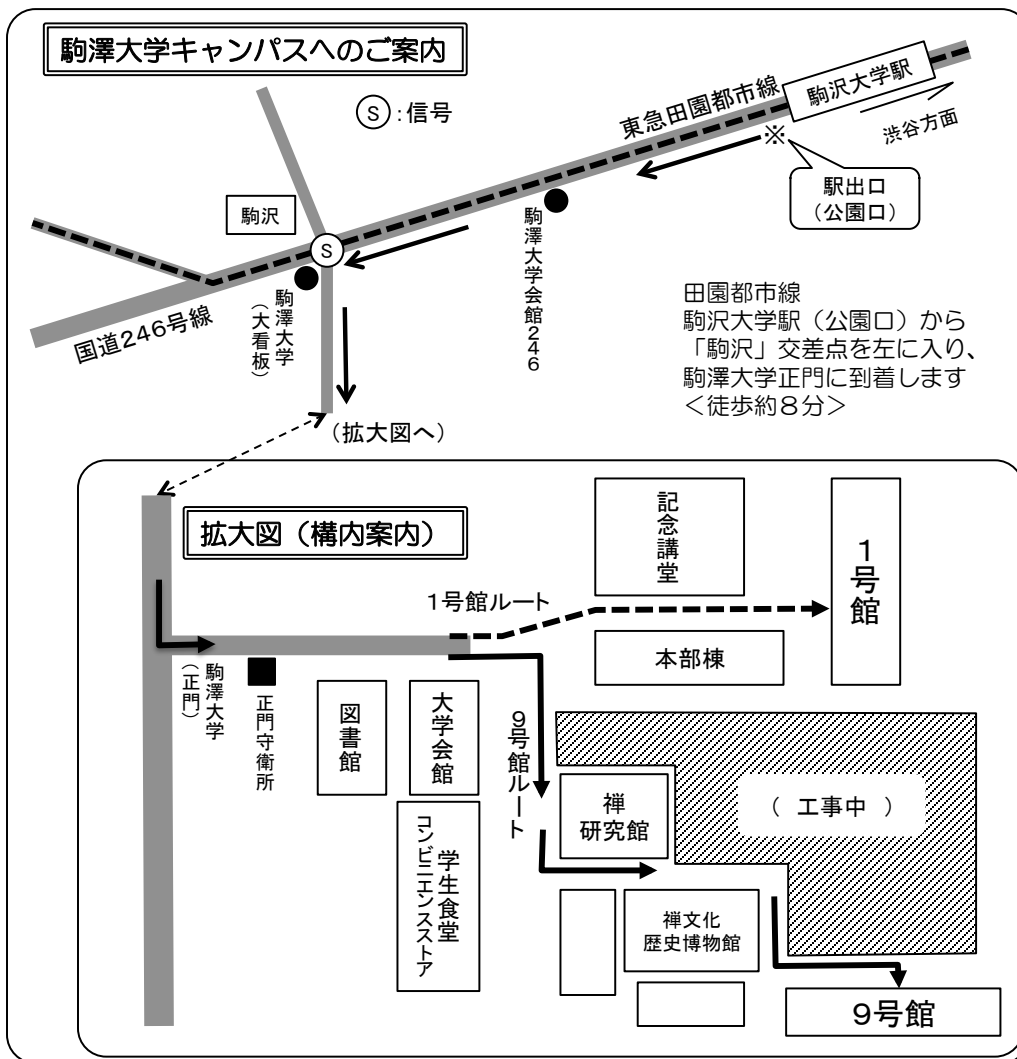
1934年、東京に生まれる。早稲田大学法学部卒（1957）。大学院修了後1965年よりタイ・チュラロンコン大学、ベトナム・サイゴン大学、スイス・WCC（世界教会協議会）エキュメニカル研究所副所長・ジュネーブ大学大学院、アメリカ・ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所等の研究員・教授。

1987年、早稲田大学人間科学部創設にあたり、教授として日本で最初のバイオエシックス（生命倫理）講座を担当、研究と教育を推進。

厚労省・厚生科学審議会委員、厚労省・医師国家試験委員、司法制度改革推進本部・法曹制度検討会委員、日弁連綱紀委員、恵泉女学園大学学長（2006～2012）、日本生命倫理学会第9期代表理事・会長、国立障害者リハビリテーションセンター運営委員などを歴任。

現在、早稲田大学名誉教授、ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所・特任研究員。





10月講演会開催概要	
講師	木村 利人(早稲田大学名誉教授)
日時	2017年10月28日(土) 14:00~16:00(開場は、13:30)
会場	駒澤大学 1号館 202教室
参加費	一般:1000円 学生:500円(社会人学生は対象外)

お申し込みは、下記項目ご記入の上、FAXまたはeメールにてお申し込みください

氏名	会員・非会員 (どちらかお選びください)	
連絡先(電話)	電話:	
連絡先(eメール)	eメールアドレス :(_____ @ _____)	
非会員の方は ご住所を:		

(お申し込み年月日: 年 月 日)



一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン 10:00~16:00)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX:(03) 5778-4728

e-mail: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>